

# 問題発見力を高め、納得解を導き出すことができる生徒の育成

○中村 功佑、多田 忠好、小笠原 一隆

## 1 研究主題設定の理由

本校社会科では、Society5.0 時代を生き抜くための人間の強みを、「問題発見力」と「答えが一つではない問題について、互いの意見をすり合わせて納得解を見つける力」と捉え、資質・能力の育成を目指してきた。

中央教育審議会答申(令和5年3月)では、日本社会に根ざしたウェルビーイングの向上のために、獲得的要素と協調的要素を一体的に向上させることが重要であると指摘している。本校生徒は、社会科の授業において社会的事象に興味をもち、意欲的に問題解決に取り組む姿(=獲得的要素)が見られる一方で、「将来の夢や目標を持っていますか」や「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」(=協調的要素)といった質問項目には積極的否定の回答割合が高い、といった特徴が見られる。

社会科は、実社会における人々の営みや地球的諸課題について学ぶ、「持続可能な社会」を実現する教育の中核となる教科である。そのうえで、内容面にとどまらず、倫理性を持って他者と対話を行い、合意形成を図ることで、社会的な対立やジレンマに対処し、向社会的な行動について考え、実践できる生徒の育成を目指したい。

## 2 社会科で育成を目指す資質・能力

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
<ul style="list-style-type: none"> <li>○個別の知識を構造化、体系化することで概念的知識として捉え、問題場面において活用する力</li> <li>○社会的課題について、未来志向の視点から捉える力</li> <li>○課題解決までの道筋を自ら考え、解決すべき問いを明らかにする力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○持続可能な社会を実現するための課題を発見し、社会への関わり方を選択・判断する力</li> <li>○他者との対話や協働を通して、自分の考えを再構築したり合意形成を図ったりする力</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○問題に粘り強く取り組む中で自己の学びを調整したり、問題を発見したり、提案したりするなど課題の解決に関与する力(社会参画意識)</li> </ul>

国立教育政策研究所は、「持続可能な社会づくりの構成概念(例)」を、多様性・相互性・有限性・公平性・連携性・責任性の6つに整理している。

前者の3つは「人を取り巻く環境に関する概念」であり、普遍的なものである。後者の3つは「人の意思・行動に関する概念」であり、場所や時代によって変化が見られる。これら6つの概念を教師はファシリテートの視点としてもち、場のウェルビーイングの充実に寄与する資質・能力を育成する。

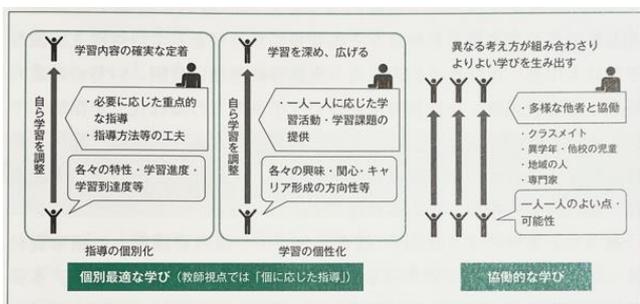
## 3 研究内容

### 視点① 個別最適な学びと協働的な学び

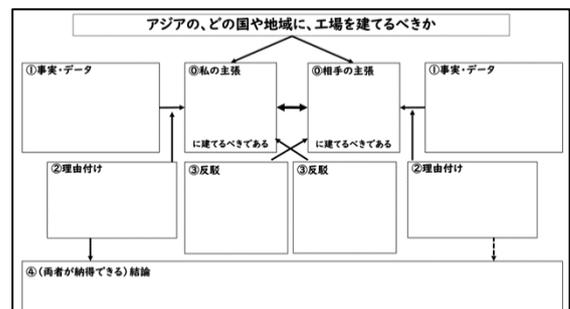
奈須(2021)は、個別最適な学びを学習者の視点から「指導の個別化」と「学習の個性化」の2つに整理した。単元の中で解決すべき問いの順序や優先度を学習者が選択したり、学習者自身の興味関心に応じて新たな問いを設定したりすることで、課題解決までの道筋を自ら考え、自己調整しながら自律的な学びを進められるようになる。

また、協働的な学びの場面においては、三角ロジックを基にする「論証」を他者との対話によって行う、「対話型論証」(松下 2021)に取り組む。これまでは、異なる意見を持つ他者との関係は対立に留まりがちだったが、自分とは異なる多様な意見に耳を傾け、それを考慮しながら自分の主張を組み立てることで、互いにこっぴどく「納得解」を導いていく。3年間を通して、段階的に他者と合意形成を図る力を育成していく。

「個別最適な学び」と「協働的な学び」のイメージ  
※中田 (2023)



対話型論証の完成系イメージ  
※松下 (2021) をもとに作成



### 視点② 教科等横断的資質・能力の育成

社会科と他教科とは、知識の面で多様な結びつきが見られる。様々な社会的事象が、固有名詞から生徒の生活経験に基づく知識へと変容することは、大きなメリットであると言える。特に総合的な学習の時間は、ともに「社会参画」を目指すため、親和性が高いと考えられる。同時期に関連する内容を並行して実践するように単元構成を工夫することで、生徒の中で学びが往還することが期待できる。

また、国語科の「A 話すこと・聞くこと」の学習内容と連動し、国語科で身につけた話の構成の工夫や論理の展開の技術を生かして「論証」の指導を行うことで、資料の選択や読み取りなど社会科で求められる資質・能力に焦点化した指導に注力することが期待できる。